

農業遺産シンポジウム

社会や環境に適応しながら100年以上にもわたって持続可能な農林水産業が受け継がれてきた「農業遺産」。
持続可能な社会を目指す動きが広がる中、改めて農業遺産地域の有する価値がクローズアップされています。
日本の宝ともいえる農業遺産を将来にわたって受け継いでいくためには、民間企業等も含めた多くの人々の支えが必要です。
農業遺産地域と企業が連携し、ともに発展していくためにどのようなことができるのか、事例紹介を交えて議論します。

日時

2024年11月19日(火)
13:00 ~ 17:00

定員120名
参加費無料

会場

二子玉川ライズ スタジオ & ホール

東京都世田谷区玉川 2-21-1

※オンライン同時開催 (Zoom)

申込はこちらから <https://qa.nta.co.jp/Q/auto/ja/34000000/MAFFsympo/>



基調講演 (13:20 ~ 14:10)

能登の里山里海を将来に受け継ぐために

企業と歩む農業遺産地域の事例紹介 (14:20 ~ 15:30)

にし阿波地域のおもてなし ~傾斜地の田舎暮らし体験~

: 徳島県にし阿波地域

ネイチャーポジティブと尾鷲ヒノキ林業

: 三重県尾鷲市、紀北町

阿蘇の草原の維持と持続的農業を未来につなぐ

: 熊本県阿蘇地域

パネルディスカッション (15:40 ~ 17:00)

テーマ **企業との連携で高める
農業遺産地域の魅力**

ファシリテーター **小谷 あゆみ 氏**
(農ジャーナリスト)



- パネリスト
1. 堀田 知恵美 氏 (石川県農林水産部里山振興室 室次長)
 2. 島田 由香 氏 (一般社団法人日本ウェルビーイング推進協議会 代表理事)
 3. 堀内 寛 氏 (株式会社農業総合研究所 代表取締役社長)
 4. 関 龍彦 氏 (講談社「FRaU」編集長兼プロデューサー)
 5. 桂 武弘 氏 (日本旅行総合研究所 主任研究員)

農業遺産
展示フェア

11月20日(水)
10:00 ~ 18:00

会場: 二子玉川ライズ
ギャラリー



／ 地域の特産品も集まります! ／

にし阿波ブランド認証品、
静岡茶の試飲、
山形県産紅花製品、
和歌山県産梅干しなど



主催: 株式会社日本旅行 協力: 株式会社日本農業新聞

開催・運営に関する問い合わせ 株式会社ブランドゥ・ジャパン (日本旅行グループ)
(農業遺産担当まで) TEL: 03-5470-4401 E-mail: nogyoisan@nta.co.jp

この事業は農林水産省補助事業 令和6年度「農山漁村振興交付金」を活用し実施されるものです。